

私立大学図書館協会
2009年度第2回東西合同役員会議事要録

日 時：2010年3月5日（金） 14時25分～16時40分

場 所：大阪ガーデンパレス 葵の間

出席者：名簿（別紙）のとおり

議事に先立ち、北川勝彦関西大学図書館長から挨拶の後、今回初めての出席者の紹介があった。
議事進行は、北川勝彦関西大学図書館長が担当した。

1. 報告事項（2009年8月～2010年2月）

(1) 協会会務報告

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 4-8）にもとづき報告が行なわれた。

(2) 東地区部会会務報告

東地区部会長校青山学院大学（添田）から配付資料（p. 9-13）にもとづき報告が行なわれた。

(3) 西地区部会会務報告

西地区部会長校同志社大学（上田）ならびに各地区協議会理事校から配付資料（p. 14-24）にもとづき報告が行なわれた。

(4) 委員会報告

1) 協会賞審査委員会報告

協会賞審査委員会委員長（慶應義塾大学：石黒）から、協議事項5「2009年度協会賞について」の協議の際に、配付資料（p. 25）にもとづき報告が行なわれた。

2) 研究助成委員会報告

研究助成委員会委員長（立教大学：小泉）から、協議事項6「2010年度研究助成について」協議の際に、配付資料（p. 25）にもとづき、報告が行なわれた。

3) 国際図書館協力委員会報告

国際図書館協力委員会委員長（立命館大学：臼井）が欠席のため会長校関西大学（赤木）から配付資料（p. 25-27）にもとづき、会議報告ならびに寄贈図書搬送事業、2009年度海外集合研修および派遣研修の実施状況、2010年度海外派遣研修参加者の募集状況、国際図書館協力シンポジウムについて報告が行なわれた。

4) 協会ホームページ委員会報告

協会ホームページ委員会委員長（中央大学：渡来）から配付資料（p. 27-28）にもと

づき、会議報告ならびにサイトポリシー、新たに設ける予定の掲示板の運用方法、WW情報資源提供サービス利用状況について報告が行なわれた。

(5) 協会関連事項報告

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 28-29）にもとづき主として次のような報告が行なわれた。

1) 国公立大学図書館協力委員会報告

・第67回国公立大学図書館協力委員会が開催され、その中で国会図書館が博士論文をデジタル化し、インターネットで提供することの検討状況の報告があった。実施案より大学図書館が主体となっていた部分が削除された。また来年度に予算が継続されれば執行される予定である。

2) ICOLC (International Coalition of Library Consortia) 会議への職員派遣について
2010年4月19日から21日までシカゴで開催される標記会議に、輪番により早稲田大学の今村昭一氏を推薦した。

(6) 協会役員校、委員会および協会関連団体委員について

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 30-32）にもとづき報告が行なわれ、異動が追認された。

(7) 2010年度行事・会議予定について

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 33）にもとづき報告が行なわれた。

2. 協議事項

(1) 2009年度一般会計・特別会計決算報告（案）について

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 34-38）にもとづき、2010年2月16日現在の支出状況と決算見込みについて次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・次年度繰越金は1,642万円となる見込みである。前年度繰越金と比較して179万円増となる。
- ・増加の要因は、前期研究助成委員会活動費の戻入ならびに第70回総会・研究大会からの戻入、通信費および会報刊行費が節約できたことと考えられる。
- ・研究助成特別会計ならびに国際図書館協力基金特別会計において、予算どおりの収入が見込まれる。
- ・国際図書館協力基金特別会計においてシンポジウム費が未執行である。

協議の結果、提案のとおり承認された。

(2) 2010年度事業計画（案）について

会長校関西大学（北川・金）から配付資料（p. 39-41）にもとづき、次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・これまでの協会事業を継承しつつ、委員会活動の強化ならびに図書館員育成、諸外国の図書館事情の調査・研究、協会ホームページ活用のための新たな方策を提案したい。
- ・加盟図書館員の自己啓発を目的として「海外認定研修（配付資料 p. 41）」を試行的に実施したい。
- ・協会ホームページにおいて電子掲示板の試験的運用を行ないたい。

以上の説明を受け、次のことが協議された。

- ・加盟図書館員の便宜を図るため研修先のパンフレット・案内などの情報を提供すること
- ・助成金額を検討すること

協議の結果をふまえ、提案の骨子が承認された。

(3) 第71回（2010年度）総会・研究大会について

当番校西南学院大学（伊藤）から配付資料（p. 42-44）にもとづき、標記のスケジュールについて説明ならびに提案が行なわれた。

協議の結果、提案のとおり承認された。

(4) 2010年度一般会計・特別会計予算（案）について

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 45-48）にもとづき、2010年度一般会計ならびに特別会計に関する予算について次の説明と提案が行なわれた。

1) 一般会計

- ・新たに海外図書館調査・海外認定研修補助費および協会HP運営費を設けた。
- ・通信費および委員会費、総会・研究大会開催支援費、会報刊行費を減額し、海外図書館調査・海外認定研修補助費および協会HP運営費に予算を組み入れた。
- ・協会HP運営費は、電子掲示板の運用に関して外部委託ならびにアルバイト雇用が発生した場合の経費としたい。
- ・総会・研究大会特別会計に赤字が出れば一般会計の予備費から補てんする。

2) 特別会計

- ・収入は、研究助成特別会計ならびに国際図書館協力基金特別会計ともに例年どおりの金額を予定している。
- ・研究助成特別会計の支出は、複数年で採択された研究助成の既決定分に、2010年度研究助成の申請1件が採択された場合を考慮して予算計上した。
- ・国際図書館協力基金特別会計の支出において、国際図書館協力シンポジウムの実施を予定している。

協議の結果、提案のとおり承認された。また従来どおり2010年度総会までは暫定予算として執行することとなった。

(5) 2009年度協会賞について

協会賞審査委員会委員長（慶應義塾大学：石黒）から配付資料（p. 49, 68）にもとづき、2件の推薦の概要および採否、採否の理由が答申された。

協議の結果、答申のとおり承認された。

(6) 2010年度研究助成について

研究助成委員会委員長（立教大学：小泉）から配付資料（p. 50, 69）にもとづき、1件の申し込みの概要および採否、採否の理由が答申された。

協議の結果、答申のとおり承認された。

(7) 2009年度国際図書館協力シンポジウムについて

国際図書館協力委員会委員長（立命館大学：臼井）が欠席のため会長校関西大学（赤木）から配付資料（p. 50-51）にもとづき、標記について、十分な準備をするため本年度は不開催とすることの提案があり、協議の結果、提案のとおり承認された。

(8) 2010年度国際図書館協力シンポジウムの開催について

国際図書館協力委員会委員長（立命館大学：臼井）が欠席のため会長校関西大学（赤木）から配付資料（p. 51-52）にもとづき、標記について、次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・日程： 2010年5月14日（金）
- ・会場： 青山学院大学青山キャンパス
- ・講演テーマ： 学術情報のデジタル化と図書館の未来（仮）
- ・講師： Dr. Ingrid T. Parent（University of British Columbia 図書館長）
- ・パネルディスカッション
「急速な学術情報のデジタル化と世界的規模での流通という状況下の大学図書館のあり方：現状報告と図書館の未来への提言」
- ・パネリスト
加藤哲夫（司会） 早稲田大学図書館長
Ingrid T. Parent（講師）
時実象一 愛知大学文学部教授
依頼中の1名

協議の結果、提案のとおり承認された。

(9) 2010年度協会脱退届の取り扱いについて

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 52）にもとづき、次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・2010年3月5日現在、4校の脱退の申し出がある。
- ・4校のうち、議論の余地のない理由で脱退する2校の他は、「大学経営上の理由」による脱退として総会に提案したい。

協議の結果、提案のとおり承認された。

3. 懇談事項

(1) 次期役員校、総会当番校、委員会委員の選出について

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 53～54, 55～56, 70～75）にもとづき、次の説明があり、種々懇談を行なった。

- ・現時点で会長校が把握しているデータをもとに資料を作成した。
- ・2011年度～2012年度役員校の一覧は2010年度総会において協議事項として上程する。
- ・委員会委員の選出は配付資料（p. 70～75）により、6月を目途に作業を進めたい。

(2) 新規加盟への勧誘について

会長校関西大学（金）から配付資料（p. 57～60）にもとづき、勧誘活動の状況報告があり、種々懇談を行なった。

(3) 図書館におけるRFIDプライバシー保護ガイドラインについて

会長校関西大学（金）から、配付資料（p. 61-67）にもとづき次の説明があり、種々懇談を行なった。

- ・内容的には妥当であるとする。
- ・標記の公表について依頼があれば本協会として対応したい。

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。

以 上